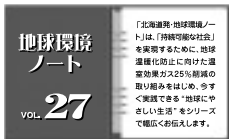


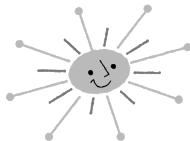
シリーズ27回目のテーマは「3R」



HOKKAIDO! ECO
地球の“い”と向き合い、“い”に気づいて、“い”から思いやりのある行動を
地球にやさしい・エコプロジェクト



限りある地球の資源を
繰り返し使っていく「3R」。
循環型社会を支える
この取り組み、
エコロジ村の仲間たちも
頑張っているようですよ。



三つのRで 地球を守ろう

リデュース・リデュース・リサイクル
Rではじまる
この三つを頑張れば
住みよい地球を
守れるんだって
早速行動しなくちゃね

-1- 三つのRで 循環型社会を目指す



「3R(スリーアール)」は、リデュース(Reduce=減らす)・リユース(Reuse=くり返し使う)・リサイクル(Recycle=再生利用する)を表す総称です。頭文字になっている三つのRを進めることで、限りある地球の資源を繰り返し使う「循環型社会」を築くことができます。資源の少ない日本にとって、大切な取り組みです。

-2- リデュースは ものを大切にすること



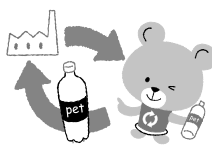
三つのRのトップを飾る「リデュース」は、ものを大切に、できるだけ長く使うことです。具体的には、必要のないものは買わない、もらわない、壊れにくく、長く使えるものを選ぶなど、材料やエネルギーの使用量を減らすことにつながるため、CO₂の排出も抑制できます。買い物にマイバッグを持参することも、立派なリデュースです。

-3- リユースは 繰り返し使うことにやのね

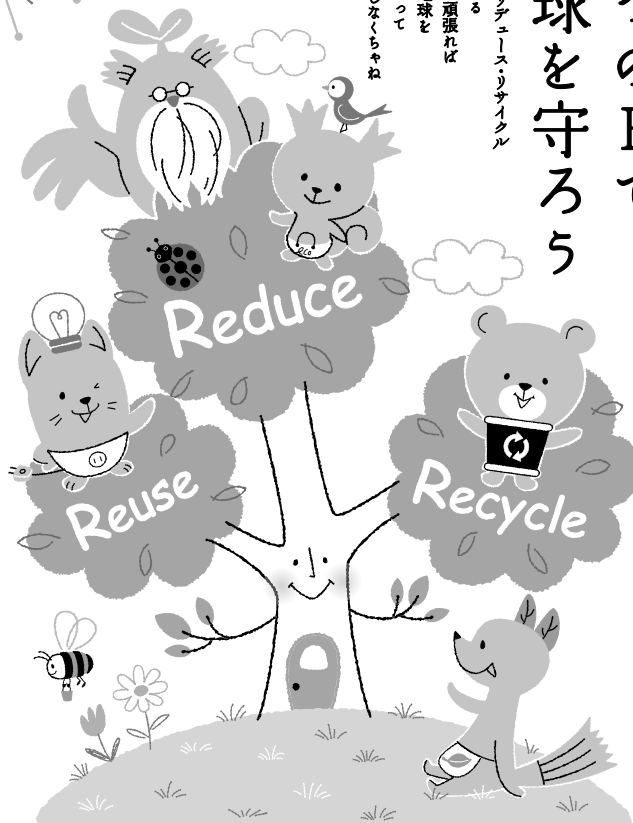


二つめのR「リユース」は、使えるものは繰り返し使うことです。例えば、シャンプーや洗剤などは、詰め替え用のものを選ぶ、要らなくなったものは、欲しい人に譲る。フリーマーケットやリサイクルショップを活用するなど、壊れたものを捨てずに修理して使うこともリユース。どれも「もったいない」と思う気持ちが出発点です。

-4- リサイクルは、再び資源として 活用することだよ



三つめのR「リサイクル」は、使用済みのものを廃棄して燃やしたり埋め立てたりせずに、再び資源として活用することです。空き缶や紙パック、プラスチック容器などは、正しく分別する。ものを買うときは、リサイクルされた製品を選ぶことも大切です。ものをつくる企業も、製品を選ぶ消費者も、みんなが循環型社会の主役です。



環境ラベルを チェックしよう

買い物上手はエコ上手
賢く選んで、
きれいな地球をいつまでも

村長さんの
知恵袋



地球にやさしい 消費者になろう

環境ラベルは、製品やサービスの環境情報を、製品そのものやパッケージ、広告などを通じて消費者に伝えるものです。逆に言うところ、消費者が環境負荷の少ない製品を選ぶための目印の役目を果たします。消費者が環境により製品やサービスを選ぶば、市場には今までと違う力が働き、企業活動や社会を環境配慮型に変えることができます。

「エコマーク」は、代表的な環境ラベルのひとつで、「ちきり」や「やさしい」がキーワードです。生産から廃棄までのライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品に付けられます。財団法人日本環境協会の審査を受け、認定されたものだけが表示できます。

「グリーンマーク」は、古紙を再生利用したペーパーや再生紙、再生紙など、再生紙などの商品に付けられます。運営主体は、財団法人古紙再生促進センターです。

「PETボトルリサイクル推進マーク」は、PETボトルを再生利用した商品に付けられます。

「PETボトルリサイクル推進マーク」は、PETボトルを再生利用した商品に付けられます。